

令和元年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第1四半期 (H31年4~令和元年6月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町	売上額	☀	☀	☀	☁	☂	☁	☂	☂	☀
	仕入単価	☁	☂	☂	☁	☂	☂	☁	☁	☂
	採 算	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☂	☂	☁
内	資金繰り	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☂	☁
	業界の業況	☁	☂	☂	☁	☂	☁	☁	☂	☁
北 信		↗ 改善		↗ 改善	→ 不変		↘ 悪化	↗ 改善		↗ 改善
県 内		緩やかに回復しているが、一部には弱さもみられる								
全 国※		-28.4↘	-4.4↘	-4.4↘	-36.5↗	-36.5↗	-31.1↗	-31.1↗	-22.4↗	-35.4↘

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

厨房設備の老朽化が問題化している（飲食店）

レジの軽減税率対応機種購入に補助金を活用した。キャッシュレスは非対応（生活雑貨小売店）

顧客の高齢化及び病气・死去による売上減少が顕著である（理美容店）

《北信》

受注は回復傾向にあるが原材料価格の高止まりで収益面が厳しくなっている（そば粉製造）

増税前の影響から建築案件は少しずつ増えている、リフォームも同様（総合建設業）

大型連休は天候にも恵まれ、例年以上の売上があった（土産物小売）

《県内》

県内の有効求人倍率が39ヵ月連続で全国平均を上回る

《全国》

産業全体：前月から一転、産業全体のDIが改善も、足取りが鈍い小規模企業景況

製 造 業：季節需要により一部業種が好調も、米中貿易摩擦の影響を受ける

建 設 業：駆け込み需要や復旧工事等の工事量は潤沢も、人手不足の影響著しい

小 売 業：一部商品に時期的な動きがあるも、一般的にキャッシュレスへの興味が薄い

サービス業：観光業を中心に好調も、全体への波及効果は薄い

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」